

<総合戦略3月改訂版新旧対照表>

P	変更前	変更後	変更の理由
7	数値目標 就業者数 <u>5年間で70人</u>	数値目標 就業者数 <u>5年間で93人</u>	当初、新規就農者30人の目標を28年度に達成しているため、上方修正する。 (新規就農者53人+新規林業従事者25人+テクノパーク工業団地の立地企業・新規雇用者数5年間で15人)
7	<u>土佐打刃物</u> や伝統工芸品であるフラフについて、その魅力のPRや販路拡大に取り組むとともに、 <u>技術や文化の継承を図るため、後継者の育成に取り組む。</u>	<u>土佐打刃物</u> や伝統工芸品であるフラフについて、その魅力のPRや販路拡大に取り組み、 <u>特に土佐打刃物については、技術や文化の継承を図るため、後継者の育成を最大の目的とした(仮称)鍛冶屋の学校の実現に向け取り組む。</u>	喫緊の課題である、土佐打刃物の後継者育成に向け、(仮称)鍛冶屋の学校について取り組むため。
7	(具体的な事業) ・地場産業( <u>土佐打ち刃物</u> 、フラフ)の振興	(具体的な事業) ・地場産業( <u>土佐打刃物</u> 、フラフ)の振興 ・(仮称)鍛冶屋の学校の設立支援	
7	重要業績評価指標(KPI): ・市産材を活用した木材住宅件数 <u>5年間で50件</u>	重要業績評価指標(KPI): ・市産材を活用した木材住宅件数 <u>5年間で90件</u>	当初50件の目標を今年度達成予定のため、上方修正する。
8	既存の観光施設を活用し、地域にある自然や歴史などの観光資源を有効につなげた体験型観光プログラムを磨き上げ、情報発信に取り組む。また、広域観光協議会と連携し、外国人をはじめとする観光客の増加に向け、環境整備を推進する。	既存の観光施設を活用し、地域にある自然や歴史などの観光資源を有効につなげた体験型観光プログラムを磨き上げ、情報発信に取り組む。また、広域観光協議会と連携し、外国人をはじめとする観光客の増加に向け、環境整備を推進する。 <u>龍河洞については、観光客の安全対策や満足度向上の整備を行う。</u>	龍河洞の観光客増を目指し、平成29年度は龍河洞まちづくり協議会で基本計画を策定した。その基本計画に基づき3年間にわたり、安全対策や満足度向上に対する支援を実施することとなったため。
8	(具体的な事業) ・体験観型観光の推進	(具体的な事業) ・体験観型観光の推進 ・ <u>龍河洞エリア活性化事業</u>	
8	重要業績評価指標(KPI): ・新規就農者 <u>5年間で30人</u>	重要業績評価指標(KPI): ・新規就農者 <u>5年間で53人</u>	当初30人の目標を28年度に達成しているため、上方修正する。(29年度までの累計が41人で、H30,31の新規就農者目標数が6名ずつなので、合計で53人。)
11	空き家バンクに登録した空き家を、居住のために必要な改修工事や荷物の処分に必要な費用に対して、補助対象経費の2分の1以内、上限50万円(予算の範囲内)で補助する。	空き家バンクに登録した空き家を、居住のために必要な改修工事に要した費用について、 <u>3分の2以内、上限12万6千円(予算の範囲内)</u> 、また、荷物の処分に要した費用に対して、補助対象経費の2分の1以内、上限50万円(予算の範囲内)で補助する。	平成29年5月の要綱改正に伴うため。
11	重要業績評価指標(KPI): ・空き家バンク登録件数 <u>年間10件</u>	重要業績評価指標(KPI): ・空き家バンク <u>新規</u> 登録件数 <u>年間14件</u>	毎年目標を達成しているため、上方修正する。

<総合戦略3月改訂版新旧対照表>

P	変更前	変更後	変更の理由
13	重要業績評価指数(KPI):乳児加配保育士数 <u>3人</u> 加配による途中受入児童数 <u>9人</u>	重要業績評価指数(KPI):乳児加配保育士数 <u>1人</u> 加配による途中受入児童数 <u>3人</u>	乳児(0歳児)の待機児童の解消に向けて、施設の状態等を鑑みながら最大限定員を増やし、それに伴う担任保育士数も増やしてきた。その結果、平成27年4月1日時点での0歳児受入可能人数は37人であったが、平成30年4月1日(予定)の受入可能人数は59人となった。0歳児の途中入所希望は依然あるものの、乳児加配の配置での対策は限界が来ていると思われる。今後とも、受入体制等については検討していくが、乳児加配保育士数、加配による途中受入児童数についてのH31年度数値目標は下方修正する。
14	重要業績評価指数(KPI): ・幼稚園就園奨励費補助対象児童数 <u>90人</u> 幼稚園就園奨励費補助総額 <u>6,000,000円</u>	重要業績評価指数(KPI): ・幼稚園就園奨励費補助対象児童数 <u>100人</u> 幼稚園就園奨励費補助総額 <u>12,000,000円</u>	現在、幼稚園就園奨励費補助基準が国基準の1/2であるが、政府の掲げる就学前教育の無償化や、幼稚園就園児童の保護者の負担軽減等検討し、平成30年度から就園奨励費補助基準を国基準とするよう準備を進めているため、数値目標を上方修正。
14	<u>地域子育て支援拠点事業や一時預かり事業を実施することにより、子育ての不安感や疲労感等を緩和する。地域や関係機関等と協働し、連携を強化することにより、多様なニーズに対応して地域で安心して子育てできる生活環境を整備する。</u>	<u>共働きやターン・Uターン家庭、ひとり親家庭等多様な子育て世帯のニーズに対応し、子育ての不安感や疲労感等を緩和する。地域や関係機関等と協働し、連携することにより、多様なニーズに対応して地域で安心して子育てできる生活環境を整備する。</u>	
14	重要業績評価指標(KPI): ・地域子育て支援拠点事業・一時預かり事業の認知度 85% ・就学前児童の子育て支援(地域子育て支援拠点事業・一時預かり事業)に対する満足度 80%	重要業績評価指標(KPI): ・地域子育て支援拠点事業・一時預かり事業の認知度 85% ・就学前児童の子育て支援(地域子育て支援拠点事業・一時預かり事業)に対する満足度 80% <u>・ファミリー・サポート・センターの依頼会員と援助会員の会員数が30人以上</u>	乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の労働者や主婦等を会員として、児童の預かりの援助を受けたい者と当該援助を行いたい者との相互援助活動に関する連絡、調整を行うことにより、地域における育児の相互援助活動を推進するため。
14	(具体的な事業) ・地域子育て支援拠点事業・一時預かり事業	(具体的な事業) ・地域子育て支援拠点事業・一時預かり事業 <u>・ファミリー・サポート・センター事業</u>	

<総合戦略3月改訂版新旧対照表>

P	変更前	変更後	変更の理由
15	<p>子どもに確かな学力を身につける教育を推進する。 また、子どもの育ちの連続性を保証し、一人ひとりの子どもの特性に対応した、きめ細やかな教育を推進していく。</p>	<p>子どもに確かな学力を身につける教育を推進する。 <u>さらには、国際バカロレア教育のノウハウを活用した組織づくり、授業改善を図ることで、これからの時代を見据えた教育を実現させる。</u>また、子どもの育ちの連続性を保証し、一人ひとりの子どもの特性に対応した、きめ細やかな教育を推進していく。</p>	<p>国際バカロレア教育の教育理念は、新学習指導要領の方向性と合致している部分が多く、また香美市の「人づくりは町づくり」の精神にも繋がるものである。この教育のノウハウを活用した組織づくり、授業改善を図ることで、これからの時代を見据えた教育が実現されると思われ、平成33年度に大宮小学校の国際バカロレア認定校をめざすため。</p>
15	<p>重要業績評価指数(KPI): ・「全国学力・学習状況調査」で、小学生は全国平均値より5P以上、中学生は全国平均値以上となる ・小中学校とも不登校の出現率が全国平均値以下となる</p>	<p>重要業績評価指数(KPI): ・「全国学力・学習状況調査」で、小学生は全国平均値より5P以上、中学生は全国平均値以上となる <u>・「全国学力・学習状況調査」で、大宮小学校は国語・算数ともに全国平均値より5P以上を目指す。</u> ・小中学校とも不登校の出現率が全国平均値以下となる</p>	
15	<p>(具体的な事業) ・学力向上推進事業 ・教育支援センターの充実</p>	<p>(具体的な事業) ・学力向上推進事業 <u>・国際バカロレア教育推進事業</u> ・教育支援センターの充実</p>	